

令和8年9月定例会代表質問通告者及び質問要旨

(代表質問・議案質疑を含む)

◎9月9日(水)

質問順	質問者	質問要旨	答弁者
1	矢崎 和也 (新翔会)	1 クラインガルテン整備事業について 本事業については、慎重に進めるよう委員会要望を行ったにもかかわらず、新たな構想に基づき事業を進めることは議会軽視である。 ・土地の購入金額、総事業費、想定している維持管理、修繕、更新などのコストのうち、市の負担分と事業運営上の収支シュミレーションについて伺いたい。 ・本市が取り組むべき事業の中での、本事業の優先度と拙速に進めようとする理由を合理的に示されたい。 ・より公費負担の少ない手段があったのか比較検討したのか、また、サウンディング調査を実施した場合はその内容を、しない場合はその理由を伺いたい。 ・6月定例会における建設経済常任委員会委員長報告で「事業の推進は慎重に」と要望したにもかかわらず、事業を進めた理由は何か伺いたい。 ・8月に入札公告した建築設計業務委託について、先に議決された整備事業経費予算の内容から大幅に変更がなされているにもかかわらず、議会の審査も議決もなく進めることについて、法的根拠等はあるのか、また、決裁した市長の考えを伺いたい。	市長
		2 山梨市駅南口市有地活用への進捗状況と民間活力の導入について 駅南口は「街の顔」であり、市有地の活用の成否は今後の本市への移住定住・人口増加に直結する極めて重要な課題と考える。 ・アザレアエリアタウン・多目的広場と連携の取れた開発に向けた手法についての考えと、今後のスケジュール等について伺いたい。 ・街のシンボルとなる「人が集まる仕掛け」の構築についてどのように考えているのか伺いたい。 ・民間活力導入の手法を取り入れ、民間事業者主導による魅力的な駅前空間の整備について、積極的に検討すべきと考えるが、市の考えを伺いたい。	市長
		3 行政サービスのデジタル化や住民利便性向上への取組について 窓口業務のデジタル化に留まらず、市民が真に利用しやすい仕組み作りが求められている。 ・「スマホ市役所」システム構築に向けた検討状況と市民への周知等について、現在どのような認識でいるのか伺いたい。	市長
	↓		

1	矢崎 和也 (新翔会)	・市長のまちづくりへの考え方について伺いたい。 ・入札不調となった2件について、どのように分析しているか、また現在の資材、人件費等の上昇が予定価格に十分反映されていたのか伺いたい。 ・設計・積算から入札までの期間が空いた場合、予定価格を見直す仕組みはあるのか伺いたい。 ・今後、入札予定価格と応札価格に乖離があった場合、補正予算によって進めていくのか、また、事業内容や仕様を見直す考えはあるのか伺いたい。 8 昨年行われた市制施行20周年記念事業について ・約2680万円を投入した特別事業について、現時点での評価と、今後の事業展開をどのように考えているか伺いたい。 ・ショート動画について、これまでどのような効果があったのか、また現在行われているショート動画コンテストについて、同様の県の事業に埋もれてしまわないような市独自の特徴があるのか伺いたい。 ・B級グルメについて、入賞作品作成者にこれまでどのような対応をし、その普及に努めてきたか、また今後の取り組みについて伺いたい。	企画推進課長
2	島村 雅美 (創山会)	1 コンビニ交付の利用促進と市役所窓口の混雑緩和について 「書かない・待たない・迷わない・行かなくてもいい市役所」の実現は重要な課題と考える。 ・コンビニ交付における手数料10円化の実施前後で、利用率はどのように変化したか、また市民をコンビニ交付に誘導するための具体策について伺いたい。 ・手数料10円化施策が、市役所窓口の混雑緩和や業務負担軽減にどの程度の効果を生み出していると評価しているか伺いたい。 ・令和8年度限りの措置として行われた減額措置について、金額を元に戻すのか、それとも継続・恒久化していく考えはあるか伺いたい。 ・混雑が緩和された窓口が、今後どのように変わっていくべきと考えているか伺いたい。 2 旧保健農園ホテル・フフ山梨の今後の有効活用について ・サウンディング調査の結果を踏まえ、今後どのような公募条件を整備していくか伺いたい。 ・過去2回の経験を踏まえ、事業候補者の決定後、契約に至るまでの協議において、どのような点を重視し、どのように取り組んでいくのか伺いたい。 3 新重川橋拡幅について 新重川橋拡幅を、早急に行う必要があると考える。	市 長
	↓		市 長

3	天野 有紀 (尚志会)	考えるが、見解を伺いたい。 ・避難所ごとのプライバシー確保について、どの程度の環境が確保されているのか、また、事前に具体的な運用計画をどのように整備しているか伺いたい。 ・「安全・プライバシー・尊厳」が守られる避難所環境をどのように整備していくか、また、どのような取組を進めているのか伺いたい。 6 学校に行けない・行きにくい児童生徒への支援について 全国的に不登校児童生徒が増加する中で、本市においても学校生活に困難を抱える子どもたちへの支援は極めて重要と考える。 ・今年度に入り、学校に行けない・行きにくい児童生徒やその保護者の状況把握に向けて、教育委員会及び各学校ではどのような取組を行ってきたのか伺いたい。 ・現在認識している課題と、それらの解決に向けての今後の取組や計画について伺いたい。	学校教育課長
---	----------------	--	--------